

# 平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	10	05	高津区地域連携スポーツ事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		地域振興課		甲	64352	

<b>事業の概要</b>									
事業の概要		地域のスポーツ関係団体との連携を図ったスポーツイベントを開催することにより、気軽にスポーツを体験できる場や地域住民間の交流機会を提供する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域コミュニティ活性化推進事業費				
		平成24年度	—						
地域の課題と現状		スポーツや健康づくりに取り組む団体相互の連携を深め、地域におけるスポーツ振興で期待される、希薄となった地域コミュニティの活性化や世代間交流を図るとともに、地域におけるスポーツ参加機会の拡充を図る必要がある。							
予決算 (単位:千円)		年度		H27年度		H28年度		H29年度	
				予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費		736	736	736	736	736	736
		財源内訳	国庫支出金						
			市債						
その他特財									
一般財源		736	736	736	736	736	736		

<b>計画 (Plan)</b>	
事業の目的	区民に気軽にスポーツを体験できる場や地域住民間の交流機会を提供する。
今年度の事業の取組内容	親子デイキャンプ体験、ファミリースポーツ緑日、親子そり体験の開催

<b>実施結果 (Do)</b>							
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	(1)平成29年8月26日(土)たかつde森遊び 親子デイキャンプ体験を開催 (2)平成29年12月2日(土)たかつde笑顔 ファミリースポーツ緑日を開催 (3)平成29年8月5日(土)、平成30年1月4日(木)、1月5日(金)たかつde雪遊び 親子そり体験を開催						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	活動指標	スポーツイベント実施回数	目標	5	5	回
				実績	5	5	
	2	成果指標	スポーツイベント参加人数	目標	1,400	1,400	人
				実績	約1,400	約1,500	
3			目標				
			実績				
4			目標				
			実績				

<b>評価 (Check)</b>			
事業を取り巻く社会環境の変化		スポーツを通じた地域住民間の交流機会を図るため、継続的に気軽にスポーツを体験できる場の提供が求められている。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(平成30年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		平成26年度:ファミリースポーツ緑日実施に伴い、委託料を増額した。 平成28年度:8月に親子そり体験イベントを実施した。 平成30年度:親子デイキャンプ体験を終了させ、障害者スポーツ体験イベント実施に伴い、委託料を増額する。	
		<b>評価項目</b>	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	スポーツを通じた地域住民間の交流機会の場として、事業のニーズは高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	スポーツイベントの参加者の増加等、数値として現れていることから一定の成果があったと考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	委託団体等と協議を行い、役割分担の見直し等による改善を検討する。	

<b>改善 (Action)</b>			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	
			親子デイキャンプ体験は市民と協働で実施していたが、事前準備と当日の運営に係る人材の確保が困難になったため終了とし、2020年に向けたパラムーブメントを推進するため、障害者スポーツ体験イベントを新たに実施する。

# 平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	10	10	親子運動会開催事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		地域振興課		石丸	64351	

## 事業の概要

事業の概要	10月の第3日曜日に高津区内の各町内会・自治会の老若男女を主な対象とし、高津地区と橘地区で運動会を実施する。参加者数は両地区を合わせて7,000人で、リレーやムカデ競争などの町会対抗競技の他、当日参加できる競技も多数用意する。							
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域コミュニティ活性化推進事業費				
	昭和41年度	—						
地域の課題と現状	大型マンションの建設や都市化の進行に伴い、地縁意識が希薄になっている中、地域コミュニティ活性化に向けて、コミュニティ形成の場を提供することが求められている。							
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	
	財源内訳	国庫支出金						
		市債						
その他特財								
一般財源	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600		

## 計画 (Plan)

事業の目的	様々な団体の連携を通じて、地域交流の促進を図る。
今年度の事業の取組内容	実行委員会形式をとり、委員会は高津地区連合町内会、橘地区連合自治会を中心に、青少年指導員会、スポーツ推進委員会など関係団体で構成する。年に数回、実行委員会を開催し、その他に団体ごとに会議を開催する。様々な団体との連携による円滑な事業実施を図る。

## 実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	4	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	委託先:高津地区親子運動会実行委員会、橘地区親子運動会実行委員会 日時:平成29年10月15日(日)午前9時30分(高津地区)、午前9時00分(橘地区) 場所:高津中学校(高津地区)、橘中学校(橘地区) ※天候不良により両地区とも中止						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位	
	1 成果指標	高津地区での親子運動会参加者	目標	4,000	4,000	4,000	人
			実績	4,000	4,000	中止	
	2 成果指標	橘地区での親子運動会参加者	目標	3,000	3,000	3,000	人
			実績	3,000	3,000	中止	
3		目標					
4		目標					

## 評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	大型マンションの建設や都市化の進行に伴い、地縁意識が希薄になっている中、今後のさらなる地域コミュニティ活性化に向けて、より多くの区民の参加を促すための周知方法の検討など創意工夫が必要となります。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近)平成 26 年度 □ 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	年齢にかかわらず参加できる競技種目(防災リレー)を新設したことにより、町内(自治)会対応協議への参加団体の増加を図った。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地縁意識が希薄になってきており、事業のニーズは高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	数値として高津地区・橘地区ともに数千人規模の参加者を維持していることから一定の成果があるものと考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	委託先の実行委員会を協議を行い、効率的な事業実施に向けた改善の余地がある。	

## 改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	平成30年度は10月21日(日)の開催を予定している。地域コミュニティの活性化につながるよう実行委員会において地域の意見に基づき検討を行う。

# 平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	10	15	地域コミュニティ施策推進事業			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		地域振興課		西村	64351	

<b>事業の概要</b>								
事業の概要		町内会・自治会未加入世帯を主なターゲットとして、地域コミュニティの核である町内会・自治会における、人材の育成や外部組織との連携などによる組織の活性化、および新規加入者増大のための取組を行う。						
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域コミュニティ活性化事業費			
		平成20年度	—					
地域の課題と現状		地域コミュニティの核である町内会・自治会における、人材の育成や外部組織との連携などによる組織の活性化、および新規加入者増大のための取組みが求められている。						
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	700	601	1,000	996	1,000	935
財源内訳		国庫支出金						
		市債						
		その他特財						
		一般財源	700	601	1,000	996	1,000	935

<b>計画 (Plan)</b>	
事業の目的	地域コミュニティの核である町内会・自治会は、役員の高齢化・後継者不足、加入率の低下や活動への参加者の伸び悩みなど、多くの課題を抱えており、これらの課題の解決や、新しい形態での活動の道を探り、町内会・自治会活動を支援することにより、地域コミュニティの活性化を促す。
今年度の事業の取組内容	町内会・自治会の役割等を知り興味関心を持てるような広報パネルを区内イベント(区民祭、ふるさと祭り、どんなもんじゃ祭り、健康福祉まつり)で展示、また高津区役所5階廊下でも常設展示し、広報冊子を製本し、各イベントや町会未加入者への説明時、区役所1階ロビー等で配布する。

<b>実施結果 (Do)</b>								
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	町内会・自治会の役割等を知り興味関心を持てるような広報パネルを作成し、区内イベント(区民祭、ふるさと祭り、どんなもんじゃ祭り、健康福祉まつり)で展示、また高津区役所5階廊下でも常設展示し、広報冊子を製本し、各イベントや町会未加入者への説明時、区役所1階ロビー等で配布した。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	地域の地形や防災などをテーマとしたイベントの実施(参加者)	目標	実績	30	—	—	人
	2 成果指標	広報パネル展示をするイベントの参加者	目標	実績	—	—	10,000	人
	3		目標	実績				
	4		目標	実績				

<b>評価 (Check)</b>			
事業を取り巻く社会環境の変化	町内会・自治会は、役員の高齢化・後継者不足、加入率の低下・活動への参加者の伸び悩みなど、多くの課題を抱えている。一方で、市民アンケート等によると地域コミュニティの希薄化を懸念する区民の意識も高まっている。新しい形や工夫を凝らした地域コミュニティ活性化推進が望まれている。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 平成 29 年度 □ 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	毎年、町内会・自治会を取り巻く状況が変化しているため、ニーズに応じた新しい内容の事業を実施している。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	市民アンケート等によると地域コミュニティの希薄化を懸念する区民の意識も高まっている。新しい形や工夫を凝らした地域コミュニティ活性化推進が望まれている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	より多くのイベント参加者等の目に触れるという点で年々上がっている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	毎年、町内会・自治会を取り巻く状況が変化しているため、ニーズに応じた新しい内容の事業を実施する必要がある。	

<b>改善 (Action)</b>			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	毎年、町内会・自治会を取り巻く状況が変化しているため、ニーズに応じた新しい内容の事業を実施する必要がある。

# 平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	10	20	橋ふるさと祭り子どもイベント開催事業費			
担当			所属コード	所属名		担当者	連絡先		
			673900	橋出張所		河野	74111		

事業の概要							
事業の概要	ふるさと祭り開催にあたり、地区内小学生によるポスターコンクールを実施。ふるさと祭りを地域全体で盛り上げていく事と広報の意味から、優秀作品からポスターを複製し、市バスや東急バス車内をはじめ区内公共施設に掲出する。また、ふるさと祭り当日は、地域の子どもたちが様々な催し物を通じてふれあう場を設定し、橋地区の魅力や地域特性を知ることができる内容のイベントを実施する。なお、橋ふるさと祭りは、橋地区連合自治会をはじめ地域の諸団体で構成された実行委員会により企画・運営している。						
	実施期間	事業開始年度 昭和55年度	事業終了年度 —	予算中事業	地域コミュニティ活性化事業費		
地域の課題と現状	当地区は、近年マンションや新興住宅の建設が進み、地元住民と新規住民が接する場が少なくコミュニティの希薄化が課題となっている。本事業は、長い伝統と歴史に育まれて地域に定着している事業でもあることから、今後も継続して実施することで、地域の親睦を図るとともに地域コミュニティの形成を図る。特に地域の子どもたちに作品発表の場により祭りに参加してもらうことでふるさと意識の醸成を図り、地域の和を深め、将来にわたって地域の活性化を図っていく。						
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320
	財源内訳	国庫支出金					
	市債						
	その他特財						
	一般財源	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320

計画 (Plan)	
事業の目的	子どもを中心とした地域交流の活性化と橋地区の魅力と地域特性を知る機会の提供
今年度の事業の取組内容	事前のポスターコンクールの実施と応募作品を活用した橋ふるさと祭りの広報。 移動動物園やゲームコーナー、工作など子ども向けイベントの企画・運営。 幼児、小学生を対象とした輪投げや各種工作遊びを行う子ども広場の運営に、地元中高生のボランティア参加を検討。

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	日時:平成29年8月6日(日)午前9時30分~午後5時30分 場所:川崎市民プラザ 天気:晴れ 橋ふるさと祭り来場者数:約7,000名、うち、子ども来場者数:約2,500名 事前にふるさと祭りポスターを配布、各所貼付することによる広報 ポスターコンクールの応募:91作品						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位	
	1 活動指標	事前のポスターコンクールの実施と応募作品を活用した橋ふるさと祭りのポスターによる広報	目標 実績	650 650	650 650	枚	
	2 成果指標	移動動物園やゲームコーナー、工作など子ども向けイベントの実施(子ども来場者数)	目標 実績	約2,000 約2,500	約2,000 約2,500	人	
	3 成果指標	幼児、小学生を対象とした輪投げや各種工作遊びを行う子ども広場を運営する地元中高生ボランティア	目標 実績	10 10	10 10	人	
	4		目標 実績				

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	マンション建設等が進み、地元住民と新規住民のコミュニティが希薄化している。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から) 具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 昭和55年から継続して行い地域の方々にも定着している事業であることから、今後、早急な事業の見直しや改善は考えていないが、必要があれば委託団体及び関係団体と密に会議や連絡調整を行いながら、費用対効果を更に十分に考慮した企画・運営、及び事務改善を進めている。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	多くの地元住民の来場があり、子どもたちを中心とした地域交流の場として、事業に対するニーズは高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	若者の視点を生かした子ども広場の運営を円滑に進行でき、地元中高生の社会参加の意識とボランティア意識の醸成が図られた。また、こどもの来場者は2千人を超え、ポスターコンクールの応募も91名と多数あり、子どもたちの関心が高まっており事業の成果が順調に上がっている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	委託団体との密な連絡調整を行いつつ、必要があれば費用対効果を十分に考慮した企画・運営、および事業改善を進めていく。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 住民ニーズに適応した事業展開を目指すとともに、更に効率的・効果的な運営を視野に入れ継続して実施していく。橋地区の特色をより活かせる事業を行うことで、「地域の活性化」、「ふるさと意識の醸成」を進める。また、運営補助として地元中高生に参加してもらうなど、より子どもの参加を促す事業内容について、実行委員会と検討・調整していく。		

# 平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	10	25	高津区まちづくり推進事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		地域振興課		中澤	64355	

## 事業の概要

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●まちづくりの推進を図るため、次の事柄を推進する。                     <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市民活動支援ルームの運営と登録団体の交流</li> <li>2. 区内の市民活動の情報誌であるキラリたかつニュースの発行、市民活動支援のホームページの運営管理</li> <li>3. 高津学の開催</li> <li>4. 市民活動見本市の開催</li> <li>5. 市民参加型のまちづくり実践活動の推進と地域ごとのまちづくり推進組織の生み育て</li> </ol> </li> </ul>						
	実施期間	事業開始年度 平成11年度	事業終了年度 —	予算中事業 地域コミュニティ活性化事業費			
地域の課題と現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域社会がかかえるさまざまな課題を市民自ら解決していこうとする活動が活発化する中で、市民の主体的な地域まちづくり活動への支援など区役所が果たすべき役割が高まっている。</li> <li>●「協働型事業のルール」に基づき、地域の課題解決に向けた協働型事業を推進するとともに、区民の主体的な地域まちづくり活動に係る各種支援策への橋渡しの幅広い支援を行うことが求められている。また、それらと区事業との連携も見出し、地域の課題解決を推進していく必要がある。</li> </ul>						
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	3,988	3,814	3,984	3,809	3,863	3,687
財源 内訳	国庫支出金						
	市債						
	その他特財						
	一般財源	3,988	3,814	3,984	3,809	3,863	3,687

## 計画 (Plan)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区内の市民活動・まちづくり活動の活性化</li> <li>●活動に参加する区民の輪を広げ、参加と協働によるまちづくりの推進</li> <li>●広範なまちづくりの理念を着実に実現に向けていくことを支援</li> </ul>
今年度の事業の取組内容	市民活動支援ルーム運営(通年) 交流会(10月・2月) キラリたかつニュース発行(6月・9月・12月・3月) ホームページ運営管理(通年) 高津学開催(6月・7月・9月・1月) 市民活動見本市実施(6月)

## 実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 目標を大きく上回って達成</li> <li>2. 目標を上回って達成</li> <li>3. ほぼ目標どおり</li> <li>4. 目標を下回った</li> <li>5. 目標を大きく下回った</li> </ol>						
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民活動支援ルーム運営(通年) 交流会(10月・2月)</li> <li>●キラリたかつニュース発行(6月・9月・3月)</li> <li>●ホームページ運営管理(通年)</li> <li>●高津学開催(6月・7月2回・9月2回・1月)</li> <li>●市民活動見本市実施(6月)</li> </ul>							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位	
	1	活動指標	支援活動ルーム登録団体交流会	目標	2	2	2	回
			実績	2	2	2		
	2	活動指標	広報誌の発行	目標	4	4	4	回
			実績	4	4	3		
3	活動指標	関連団体等との協働イベント開催回数	目標	4	4	4	回	
		実績	4	6	8			
4			目標					

## 評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	地域社会がかかえるさまざまな課題を市民自ら解決していこうとする活動が活性化中、市民と区役所の協働によるまちづくり活動の必要性が高まっている。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(平成31年度から)		
具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	現在検討が行われている「参加と協働による地域課題解決の新たな仕組み」に応じて事業の見直し等を行う予定		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域社会がかかえるさまざまな課題を市民自ら解決していこうとする活動が活性化中、市民と区役所の協働によるまちづくり活動のニーズは高まっている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	旧平瀬川再生事業など、行政との協働による取組みが進んでいる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	委託団体と協議を行い、事務分担のすみ分けの検討を進めていく。	

## 改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	高津区まちづくり協議会の主目的である市民活動団体への中間支援について、さらに充実させていく。高津区まちづくり協議会の活動自体について関連団体との連携を強化することで、地域へ更なる周知を推進する。

# 平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	10	30	高津区多文化共生推進事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671750		生涯学習支援課		堤・関野	814-7603	

## 事業の概要

事業の概要	ともに地域に暮らす外国人市民と交流し、暮らしや文化等多様な体験活動を共有する機会を提供することで相互理解を進め、認め合い、支え合いながら共に暮らすことのできる多文化共生社会の推進を目指す。						
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域コミュニティ活性化推進事業費			
	平成23年度	—					
地域の課題と現状	高津区に居住する外国人市民は増加傾向にあり、国籍別では中国籍、韓国または朝鮮籍、フィリピン籍が約7割を占めるほか、ヨーロッパ、北米籍等多様な国籍の外国人市民が暮らしており、定住する外国人も増加している。今後更なる国際化の進展が想定される中で、日本人を含め、民族や文化等の異なる多様な住民がともに暮らし支え合う地域づくりが求められている。						
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	258	258	258	257	258	258
	財源内訳	国庫支出金					
		市債					
	その他特財	6	6	6	4	6	9
	一般財源	252	252	252	253	252	249

## 計画 (Plan)

事業の目的	外国人市民と日本人市民が支え合いながら共に暮らす地域づくりを推進する。
今年度の事業の取組内容	多文化防災訓練、地域めぐり、料理・文化講習、子育て交流広場、多文化共生講演会を実施。

## 実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	○多文化防災訓練:7月9日(日)、○地域めぐり:11月19日(日) ○料理・文化講習:2月17日(土)、○子育て交流広場:4月~3月の第3水曜(8月を除く) ○多文化共生講演会:3月10日(土)					
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	体験活動事業の実施(参加者)	目標	60	60	人
			実績	57	94	
	2 成果指標	体験活動事業の実施(満足度)	目標	80	80	%
			実績	—	90	
3 成果指標	講演会の実施(参加者)	目標	30	30	人	
		実績	28	95		26
4 成果指標	子育て交流広場(参加者)	目標	60	60	組	
		実績	39	95		75

## 評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	高津区では、日本人市民との婚姻等により定住する外国人市民が増加傾向にあり、その国籍も多様化していることから、多文化共生のまちづくりに向けた取組の継続が必要である。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	外国籍の子ども(未就学児)と保護者のための子育て広場、日本人市民向けの啓発講演会を新たに実施。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高津区内の外国人市民は増加傾向にあり、交流を望む日本人市民の声もあり、事業のニーズは高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	高い満足度やリピーターの存在から、一定の成果があったと考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	実行委員会と協働で事業を行う上で、進め方や実施時期等に改善の余地があるため。	

## 改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	民族や文化の異なる多様な住民がともにコミュニティの一員として交流し、支え合う地域づくりが求められることから、日常生活に即した多様な体験・交流の機会を通じ、相互理解を進める事業を引き続き実施していく。

# 平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	10	35	ものづくりのまち推進事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		企画課		高橋	64123	

## 事業の概要

事業の概要	区の一つの特徴であるものづくり資源が集積する住工混地域において、地元工業会等により結成された「高津ものまちづくり会」との協働でイベントを開催すること等により住民と工場との相互理解を深めるとともに、区内ものづくり資源の魅力や可能性を地域内外に発信する。							
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域コミュニティ活性化推進事業費				
	平成25年度	—						
地域の課題と現状	高津区には最先端産業をものづくりの面から支える中小の加工組立型企業が集積し、研究開発型企業の育成・交流を目的とした「かながわサイエンスパーク」もあるなど、ものづくり資源の集積が区の一つの特徴となっている。しかし、区内の準工業地域では、工場跡地での戸建ミニ開発が進むなど住工混在状況が複雑化してきており、同地域の町工場は操業環境の確保に不安を抱いている。							
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	700	700	350	350	650	650	
	財源内訳	国庫支出金						
		市債						
その他特財								
一般財源	700	700	350	350	650	650		

## 計画 (Plan)

事業の目的	(1)町工場と地域住民との交流促進 (2)区内ものづくり資源の魅力や可能性を地域内外に発信
今年度の事業の取組内容	(1)オープンファクトリー、川崎ものづくりフェアにおける協力、広報 (2)「かわさきサイエンスチャレンジ」への「ものまちプラザ」出展 (3)「高津区ものづくり企業マップ2017」の作成・発行

## 実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>川崎北工業会(6月3日)、下野毛工業協同組合(10月29日)オープンファクトリー開催における協力、広報</li> <li>7月1日、川崎ものづくりフェア開催における協力、広報</li> <li>8月5日、「かわさきサイエンスチャレンジ」への出展</li> <li>「高津区ものづくり企業MAP」の作成・発行</li> </ul>					
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標	H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	活動指標 オープンファクトリー等の開催協力	目標	2	2	回
			実績	1	2	
	2	活動指標 川崎ものづくりフェアの開催協力	目標	1	1	回
			実績	1	1	
	3	活動指標 かわさきサイエンスチャレンジ等への「ものまちプラザ」出展	目標	1	1	回
			実績	1	1	
	4	成果指標 「高津区ものづくり企業マップ2017」の作成・発行	目標	0	15,000	部
実績			0	15,000		

## 評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	区内の準工業地域における住工混在状況は益々進んでいる。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近)平成 27 年度 □ 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	各イベントについては今後も各主体が自立的かつ継続的に実施できるよう、経済労働局工業振興課と事業の整理を行い、オープンファクトリー及びものづくりフェアの開催支援については工業振興課の事業として実施し、高津区の事業としてはそれらのイベントへの協力と住工共生に向けた広報に特化して進めることで、委託料を削減した。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区内の準工業地域における住工混在状況は益々進んでおり、事業のニーズは高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	継続してイベントを開催することで地域に浸透し、参加者も例年のべ300人以上であることから、一定の成果があったと考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	各主体及び経済労働局工業振興課と協議を行いながら、より効率的かつ効果的な事業の推進方法を検討していく。	

## 改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	これまでの取組みを継続することで町工場と地域住民との交流を深めるとともに、より一層の交流促進に向けた新たな取組についても各主体及び経済労働局工業振興課と協議を行いながら検討することで、事業を見直し・改善のうえ継続していくことが適切であると考えられる。

# 平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	10	40	区民祭開催経費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671600		総務課		今井	64112	

事業の概要									
事業の概要		区民・企業・行政の協働により開催される高津区民祭について、地域活性化や郷土愛・互助精神の醸成に寄与する事業として、主催者である高津区民祭実行委員会に補助金を支給する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域コミュニティ活性化推進事業費				
		昭和49年度	—						
地域の課題と現状		マンションの新設ラッシュ等で人口が増加し続けている中、区民ひとりひとりの郷土愛と互助の精神を醸成し、地域の絆を深めるため、区民・企業・行政が協働して高津区民祭を充実した内容で開催することにより、地域の活性化を図る必要がある。							
予決算 (単位:千円)		年度		H27年度		H28年度		H29年度	
				予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費		287	287	272	272	258	258
		財源内訳	国庫支出金						
			市債						
その他特財									
一般財源	287	287	272	272	258	258			

計画 (Plan)	
事業の目的	区民祭を充実した内容で開催するため、主催者である実行委員会を行政として支援する。
今年度の事業の取組内容	区民祭の広報充実を目的に、実行委員会に対し補助金を支出するとともに、市の後援名義使用を承諾する。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	区民祭の広報充実を目的に、実行委員会に対し補助金を支出するとともに、市の後援名義の使用を承諾した。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	目標	/					
		実績	/					
	2	目標	/					
		実績	/					
	3	目標	/					
		実績	/					
	4	目標	/					
実績		/						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	区の人口が増加している中、新規住民の郷土意識醸成は継続して課題となっており、区民祭の開催を通じて地域の絆を深め、互助精神を養うため、広報の工夫等により区民祭への参加をより強く促す必要がある。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域包括ケアシステム構築や防災など地域住民の互助連携の重要性が増している中、区民祭は地域住民がコミュニティに参加する機会を提供している。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	パレードや出店の参加団体数は概ね前年同等を維持できており、各会場イベントの運営スタッフには新規住民の参加も得られている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	区役所主導の事業ではなく、区民祭実行委員会からの申請によるため。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 区民祭実行委員会の動向を見つ、継続して支援を行う。